

… 夏休み、平和について考えてみませんか？ …



# 「原爆からよみがえった ヒロシマの木」のおはなし



1945（昭和20）年8月6日、原爆でヒロシマの街は壊滅しました。その翌年の春ふたたび芽を吹き返し、今も生きている木々があるのを知っていますか？そのような「ヒロシマの木」について、文筆家・杉原梨江子さんに写真と共に話しさせていただきます。

イチヨウの木の下  
でおこったことは？

被爆者のお話と  
ともに

被爆した木  
ならではの特徴

やけどのあと、  
ウロ、きれつなど

焼け野原に  
花が咲いた！

被爆したサクラ、  
ツバキなどについて

ほか

日時 8月9日(水) 14:00～15:30  
場所 中央図書館 1階 読書活動室  
講師 杉原梨江子さん(文筆家)  
対象 小学生  
定員 30名(保護者の参加も可)  
参加費 無料  
申込み 7月4日(火) 10時より  
お電話または中央図書館カウンターにて



被爆したサクラの芽

杉原梨江子（すぎはら りえこ）さん

広島県出身。叔父が被爆体験証言者。広島市内の被爆樹を1本1本訪ね、原爆の記憶がある人や木を守っている人に話を聴くことを続けている。日本文藝家協会会員。著書『被爆樹巡礼～原爆から蘇ったヒロシマの木と証言者の記憶』『花のシンボル事典』など。



お申込み・お問い合わせ

東広島市立中央図書館 ☎ (082)422-9449